

# 図書館通信 12月

2023. 12 土浦湖北高校

2023年最後の図書館通信です。皆さん、今年はたくさん素敵な本が読めましたか？

12月14日(木)には図書委員中央研修会がオンラインで開催されました。

読書感想文の朗読に始まり、県内の高校とのビブリオバトルも繰り広げられたこの研修会、本校図書委員は、司会はじめ一日大活躍でした。



## 図書委員おすすめ本



瀬尾まいこ著『夜明けのすべて』(水鈴社)

この本は、PMSに悩む社会人の美沙とパニック障害に苦しむ同じ会社の後輩山添くんがお互いを知っていく物語です。

この2人に共通するところは、外見だけではわからない心の病があることです。また周りから理解されにくいこともあり、始めは「自分のほうがつらいに決まってる」、「やる気のない人」と決めつけてしまいます。しかし、自分の事しか見えていなかった2人が、話が進むにつれて少しずつ相手を理解しようとするようになり自分自身の病気とも向き合おうとします。

この本には当事者でなくても共感する部分がたくさんあり、当事者の気持ちを理解することができる作品です。何かに悩んでいるとき、生きることにつらさを感じたとき、一度手に取ってみるのはどうでしょうか。

来年には映画が公開されるので見る前に是非、読んでみてください。 (1年6組 □ハス リエ)



宇山佳佑著『桜のような僕の恋人』(集英社)

この本は、恋人同士になった2人の桜のように儂く美しい恋の物語になっていて、一時期ネットでも話題になった恋愛小説です。

美容師の美咲とカメラマンの夢を再び目指す晴人。2人は互いに惹かれ合い、晴れて恋人同士になります。

ですが、そんな2人の幸せな時間は長くは続きませんでした。美咲はある難病を患ってしまい2人の関係が徐々に拗れていってしまう、そんな切ない物語になっています。

ところで皆さんは、「桜の樹の下には死体が埋まっている」という言葉を聞いたことがありますか？

恐ろしいですか？それとも、美しいと感じますか？

桜を見るたびに美咲のことを思い出す晴人、まるで桜そのものが美咲を表しているようなこの言葉にどこか似たような雰囲気を感じられるかと思います。

そしてこの本のいいところは、最後に美咲が晴人に向けて書いた手紙を私たちが晴人の目線に立って読めることです。

どちら側にもより感情移入がしやすくなって頭の中に簡単に情景が浮かんできます。

夢を追いかけることの大切さ、大切な人を思うことの美しさ、限られた日常の中のわずかな幸せを再認識出来る小説になっていますので、ぜひ手に取ってみてください。 (1年6組 磯部 心)

## ◇冬休みの開館予定

12月…28日(木)まで開館予定です。ただし少し早く閉館する日もあるかも。

1月…5日(金)から開館予定です。

では皆さん、良いお年を!!



三萩 せんや著『神さまのいる書店』(KADOKAWA)

「本と友達になれるなんて、とっても素敵なことだと思わない？」

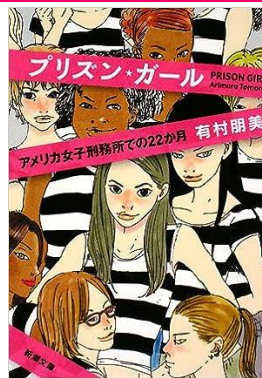
自分には居場所がないと思っていた紙山ヨミはいつも本の中の世界に逃げ込んでいた。本がヨミのことを助けてくれた、だから、ヨミは本に感謝している。けれど恩の返し方がわからなかった。

しかし、ヨミは、高校の司書教諭のノリコから、「紙山さん。それじゃ本に恩返し、してこない？」と夏休みの間のバイト先としてとある本屋を紹介される。さきみたま市の裏通り三番地にある、その書店の名は「まほろば屋書店」だった。

その書店はなんと、魂の宿る生きた本「まほろ本」を扱っている、世にも不思議な書店だった。

そこでヨミは、人間になりたい「まほろ本」の中の人サクヤにであう。果たしてヨミは、本に恩返しできるのか…ぜひ読んでみてください。

(1年5組 岡野 陽和)



有村 朋美著『プリズン・ガール』(ポプラ社)

東京生まれの有村さんが高校卒業後、21歳のときにアメリカに行った話です。

彼女はとても魅力的な人と出会いました。しかしその男性はロシアンマフィアということがわかり、麻薬密売組織への関与を疑われ、FBIに逮捕されました。二年間コネチカット州の連邦女子刑務所に収容されました。

刑務所での出来事が詳しく描かれています。(1年5組 白戸 杏奈)

## 新着(予定)本 紹介

### ①哲学・心理学・宗教

ティム・ダウリー 『地図で見る世界の宗教』 飲茶 『14歳からの哲学入門「今」を生きるためのテキスト』

### ③社会

デルフィン・パン編 『ロシア地政学地図』 家永真幸 『台湾のアイデンティティ』  
ジル・フュメー他 『食物の世界地図』 打越正行 『ヤンキーと地元』

### ④科学 ⑥産業

坂井建雄監修 『筋肉のしくみ・はたらきゆるっと事典』 サンドラ・ピシク編 『世界居住文化大図鑑』  
青木美希 『なぜ日本は原発を止められないのか?』

### ⑨小説・エッセイ

森 博嗣 『四季 春』 『百年文庫 32~33、49~60』  
知念 実希人 『ヨモツイクサ』 大江健三郎 『大江健三郎同時代論集 第1~10巻』  
山田太一 『君を見上げて』 井上ひさし 『本の運命』  
ファン・ボルム 『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』 『原泰久 『キングダム 70』